

研究方法特講

Advanced Lecture on Research Method

開講年次：1年次（前期） 単位数：2単位

○橋本 龍樹：臨床看護学講座 教授
原 祥子：地域・老年看護学講座 教授
津本 優子：基礎看護学講座 教授
小林 裕太：看護学科 特任教授
出口 顯：法文学部社会文化学科 教授
稲垣 卓司：教育学部心理・発達臨床講座 教授
中村 守彦：地域医学共同研究部門 教授
内田 宏美：天理医療大学医療学部 学部長

1. 科目の教育方針

博士前期課程で学習した研究方法を踏まえたうえで、博士後期課程において超高齢看護学特別研究を行うために必要な研究アプローチについて、看護学に限らず、文化人類学・医学・生物学などで用いられる研究方法を幅広く学習する。また、英語の論文を作成するために必要な基本的ルールと技術を学ぶ。

2. 教育目標

講義では、質的研究である Grounded theory、Ethnography Research、現象学、解釈学を取り上げ、自らの研究領域の研究の概観を探求する。また、主に量的な研究手法をとる医学的研究方法(精神・心理学、生化学、形態学、細胞生物学、分子生物学、生理学、薬理学)や、アクションリサーチについても解説する。本科目を修得することで、学生の研究に医学・社会的な視点を入れることができ、学際的な研究を進めることができるようになる。併せて英語論文を読む能力と作成する方法を修得する。

3. 教育方法、進め方、評価等

講義形式を基本とする。教育内容によっては、実際の学術論文の読解など演習的な要素を含む。評価はレポートなどで行う。

4. 使用教科書、参考書等

教科書は指定せず、各教員が資料または文献を配布する。

【参考図書】

- 1) The Practice of Nursing Research: Appraisal, Synthesis, and Generation of Evidence
Susan K. Grove, Nancy Burns, Jennifer Gray, Elsevier/Saunders, 2013, 7th ed
- 2) Nursing Research: Generating and Assessing Evidence for Nursing Practice
Denise F. Polit, Cheryl Tatano Beck, Wolters Kluwer Health/Lippincott Williams & Wilkins, 2016 10th ed

5. 教育内容

回	月日 (時限)	内 容	講師
1	4月16日	看護学研究方法の概説 ・看護学研究における研究倫理	原
2	4月23日	現象学・解釈学的アプローチの概要と特徴	原
3	5月14日	グラウンデッドセオリーの概要と特徴	原
4	5月21日	国際学会におけるプレゼンテーション(Oral/Poster)法	原
5	5月28日	分子生物学的研究方法 －医学的進歩における最新の分子生物学的アプローチ－	橋本
6	6月4日	看護学研究における知的財産と利益相反	中村
7	6月11日	－形態学及び細胞生物学的研究方法 －電子顕微鏡観察法及び免疫組織学的研究法	橋本
8	6月18日	看護学研究におけるアクションリサーチの意義	内田
9	6月25日	英語論文の読解法と作成法	橋本
10	7月2日	生理学的研究方法 －最新の医学・生理学の知見と研究方法－	小林
11	7月9日	薬理学的研究方法の概説	小林
12	7月30日	古典的エスノグラフィー、批判的エスノグラフィーの特徴と進め方	出口
13	リモート	ポストモダン・ポスト構造主義のエスノグラフィーの特徴と進め方	出口
14	8月6日 14:55-16:25	精神・心理的発達のアセスメントツール開発方法の概説	稲垣
15	8月6日 16:40-	精神・心理学的アプローチの特徴と進め方	稲垣
<p>・講義は、原則として 金曜日 18:30-20:00 演習室で行います。</p> <p>・7月26日の12回、13回は松江キャンパスで行います。時間は後日お知らせします。</p> <p>・8月9日の教室は後日お知らせします。</p> <p>・講義担当者の都合により、講義担当者が変更となる場合もあります。</p> <p>・予備日：8/23、8/30</p>			